

\*)毒ガス弾に含まれている化学物質等に関する作業の経験者又は教育を受けた者が望ましく、  
少なくとも本指針及び参考資料の内容を習熟した者  
なお、自然地質の確認のため、地質関係の知識及び経験を有したものが加わることが、作  
業の効率化のうえでも望ましい。

図1 特定土地改変の作業管理体制例

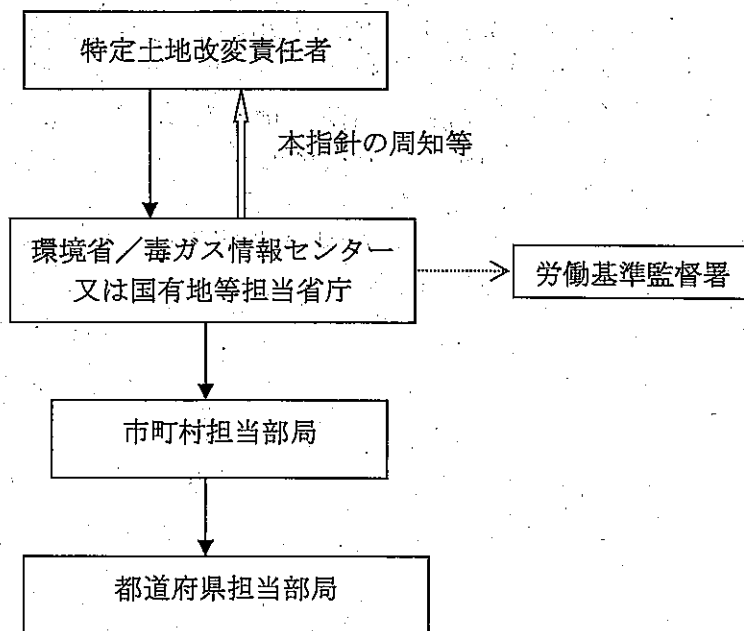


図2 通常時の連絡体制の例

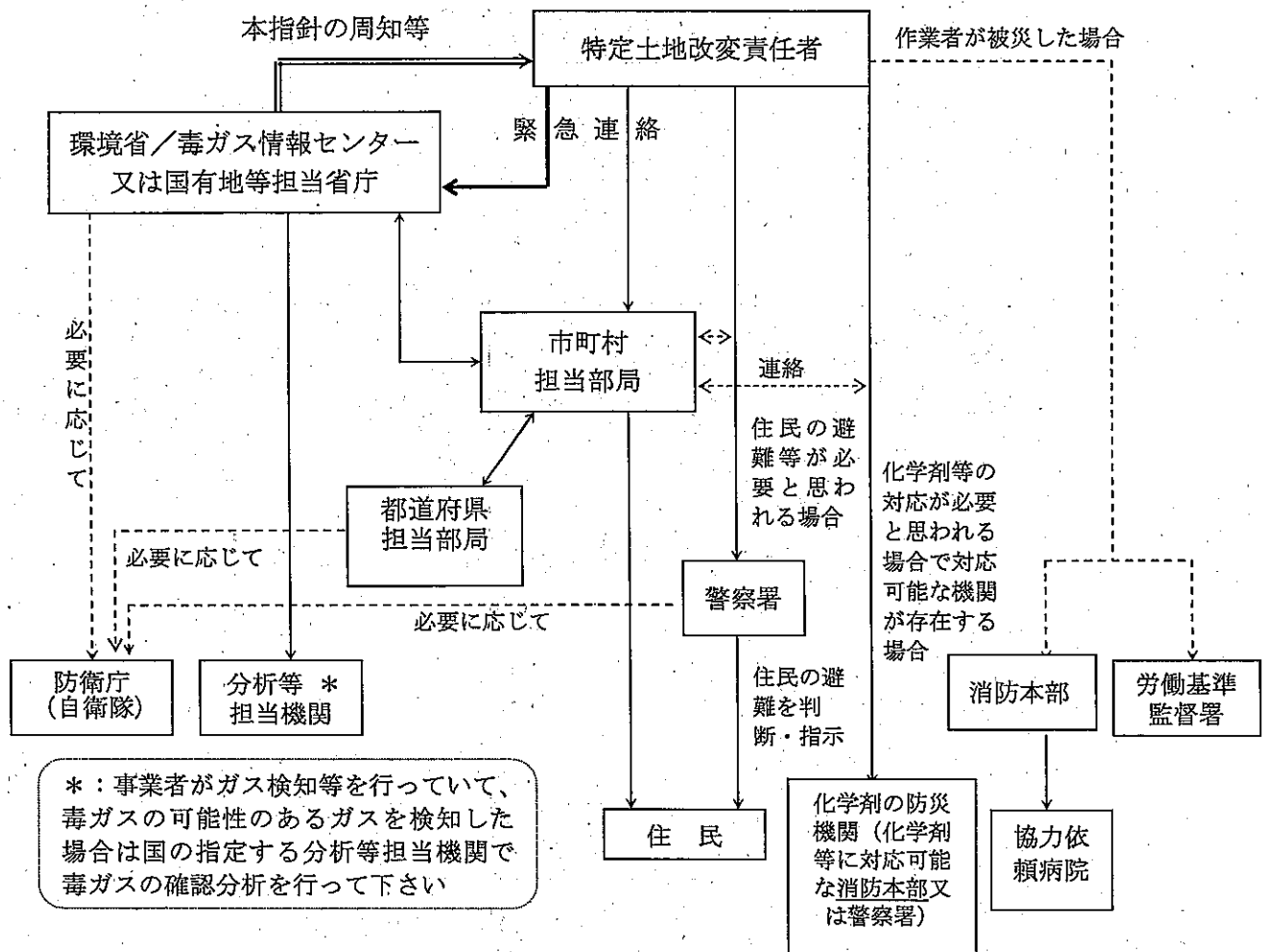


図3 異常時の連絡体制の例

表2 事前教育の項目の例

項目	項目
1) 安全教育	本指針の周知と安全教育の必要性
	環境調査結果の概要
	管理体制
	通常時、異常時の連絡体制
2) 作業場所、 作業手順等	作業・工事場所のレイアウト
	立入制限区域
	作業手順の概要
	作業場所
	掘削方法
	ガス検知等作業者（国）の確認及びガス検知等作業時の指示命令系統の確認
	土壌搬出時の注意事項
3) 使用機器・道具等	防護器具（作業者の装備等）
	掘削機器、器具の性能・使用方法等
4) 化学兵器	化学兵器の基本的な知識 （毒ガス弾に含まれている化学物質の特色、毒ガス弾の外形等）
5) 異常時の対応	予想される異常な状態（不審物に遭遇、毒ガスの可能性のあるガスを検知、作業員の症状等）
	異常時の連絡体制
	異常時の緊急措置
6) 事故発生時の対応	予想される事故及びその原因
	事故発生時の連絡体制
	事故発生時の退避等
	応急処置方法
	協力依頼病院
7) その他	記録とその保存

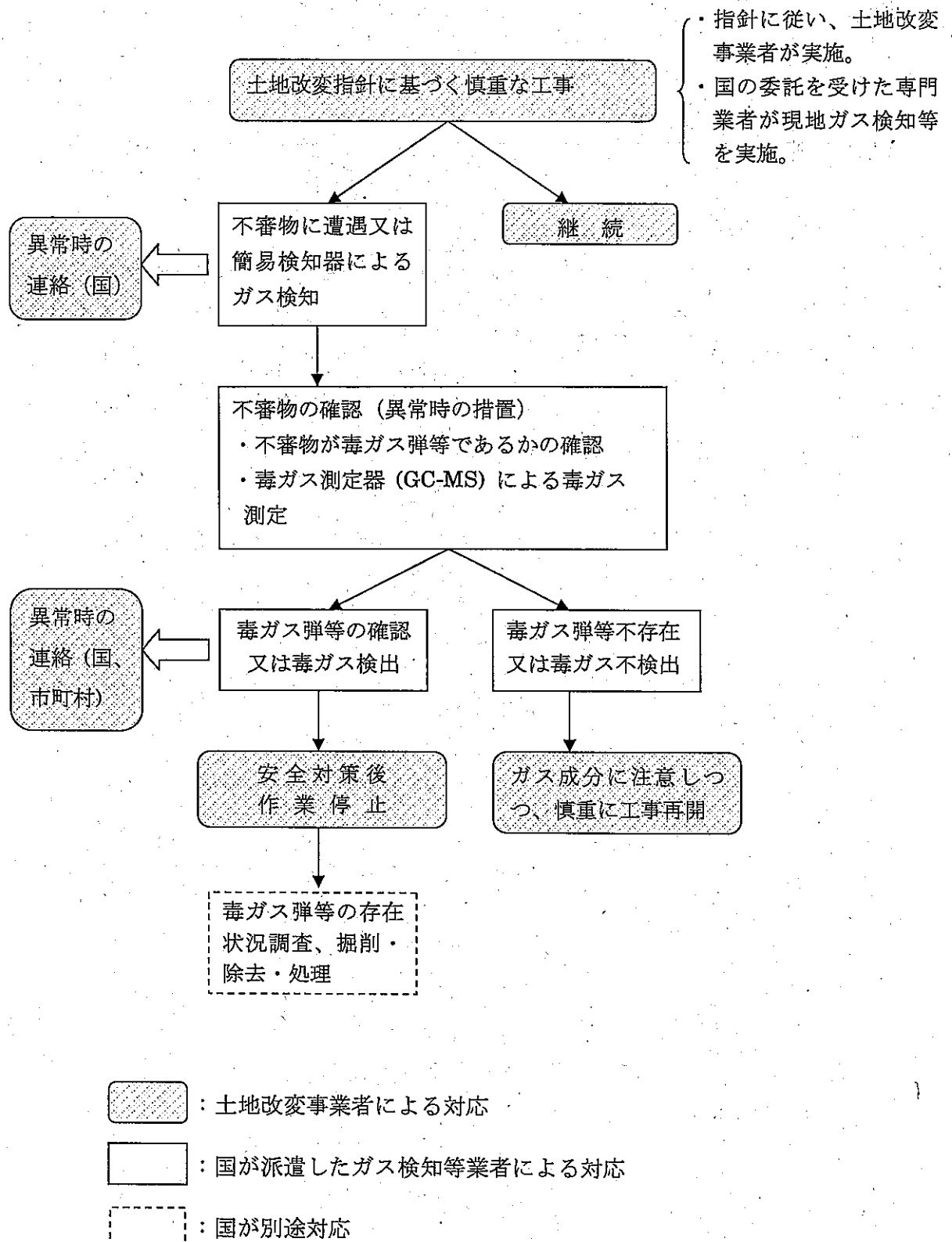


図4 土地改変指針に基づく作業フロー